

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立真駒内曙中学校 1～3年生 285名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 特活・道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	「スポーツを通して心身を向上させ、文化や国籍の違いを越えて友情やフェアプレーを育み、平和でより良い世界をめざす」オリンピック・パラリンピックの精神と、その価値に基づくスポーツについて理解を深める。
5 取組内容	事前にスポーツ庁から配布された「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」を視聴し、オリンピックの精神について学習する。講演会の当日の朝、学活の時間で事前学習として、講師の方の略歴を知る。午後、体育館で全校対象の講演会を実施する。講演会では、講師の話を聞いてから、生徒からの疑問や質問を訊ねる時間を設定する。講演会后、教室で感想を記述する。 ○指導計画 【3時間扱い】 「特別活動の時間」1時間 ・事前学習（1時間） オリンピック・パラリンピックに関する指導参考映像資料視聴 「道徳」2時間 ・講演会（2時間） 全校生徒 285 名、体育館で実施
6 主な成果	・実際の体験に基づいた話に生徒は大変感銘を受けていた。講演後、質疑応答の場面を設定し、6人の生徒から積極的に質問が出され、よかった。 ・講師の川端さんから質問した生徒に逆質問があり、一方的に話を聞くという講演会の形から一歩進んだ、対話的な場面があ

	り、質問した生徒、周りで聞いていた生徒ともに、よい経験であり、「気軽に聞いてもいいんだ」、「人前で話しても恥ずかしくないんだ」という雰囲気作りができてよかった。話す力を育むという点からみても、有効であり、講師の方と連携しながら、今後もいろいろな講演会で継続して行っていきたい。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8 主な課題等	・2年続けての講演会であったが、今後も継続して子どもたちにオリンピック・パラリンピックの精神と、その価値に基づくスポーツについて理解を深めさせることが大切である。 ・保護者にも公開したが参加者が少なかった。保護者や地域の方にも参観していただいて、家庭で話し合うことで、より深まると思われる。当初、予定していた講師の方から急な変更となり、連絡が遅くなってしまった。
9 来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。